

# 子ども読書支援センターニュース No.145

2016. 6. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

### 【山口県子ども読書支援センター行事】

#### ★幼児のためのおはなし会

○日時：平成28年7月5日（火）11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館

○対象：幼児

#### 《6月のおはなし会で使った本》

『の一びたのびた』 福田岩緒/脚本・絵 童心社 2006

『どれどれパン』 真木文絵/作 石倉ヒロユキ/絵 岩崎書店 2008

『いっしょにあそぼ!』 田中四郎/作・絵 チャイルド本社 2009

『おっとと』 とよたかずひこ/さく 岩崎書店 1997

『ぞうくんのあめふりさんぼ』 なかのひろたか/さく・え 福音館書店 2006

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

#### 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

##### <絵本-乳幼児から>

『だーれのは？ かかみのしかけではをチェック!』 新井洋行/作 講談社 2016.4 ¥900

は、は、は、は、だーれのは？ぞうのは、大きな牙で、木の根を掘って、奥歯で草をすりつぶす。は、は、は、は、だーれのは？りすのは、立派な前歯で硬い木の実もへっちゃら。他にも、シャチやライオンなど、いろいろな動物の歯を見てみよう！ダイナミックな縦開きの絵と、歯をチェックできる鏡のしかけが付いた、歯みがきトレーニングにもぴったりの絵本。

##### <絵本-3, 4歳から>

『おみせやさんでくださいな!』 さいとうしのぶ/さく リーブル 2016.4 ¥1800

ケーキ屋さんでお買い物。プリン、くださいな！動物たちの町の「ふれあい商店街」には37のお店がある。クマのパン屋、タヌキの豆腐屋、トラの花屋など、どれも愉快なお店ばかり。品物がしっかり描きこまれていて、店先をじっくり眺めているような気分でわくわくする。隠れたストーリーや絵探しの要素もある。1冊でいろんな楽しみ方ができる、お買い物絵本

『いもうとかいぎ』 石黒亜矢子/作 ビリケン出版 2016.4 ¥1500

「だめだめ」ばかり言ったり、おやつを全部食べちゃったり、ちび達を置いて自分だけ遊び回ったり…。ねえね(姉)のことをずるいと不満を持つ妹達が、ねえねを反省させるための会議を開いた。何かよい方法はないか皆で考えるが…？妹側の視点から、きょうだいの関係性を愉快地に描く。猫の妖精など、登場する摩訶不思議な独特のキャラクターが魅力的。

『あぶないよ、ふわふわケムちゃん!』 エドワード・ハーディ/ぶん アリー・パイ/え 山口文生/や 評論社 2016.4 ¥1300

愛らしくて、ふわふわのまっ白い毛虫のケムちゃんは、かくれんぼがとっても上手。ある日、カラスのカークロウに追いかけられ、このままではカークロウのご飯になってしまうと、男の人のまゆげになったり、女の子のつけたカチューシャになったりと、いろいろなところに隠れながら逃げ…。はらはらどきどきのおいかけっこと、意外な結末が楽しいイギリスの絵本。

##### <絵本-5, 6歳から>

『夜空をみあげよう』 松村由利子/作 ジョン・シェリー/絵 福音館書店 2016.5 ¥1200

家のベランダから、毎晩夜空を見上げていた、はるかとしゅんの姉弟。いちばん星に、月、夏の大三角…。都会の夜空でも、宇宙の神秘を十分に感じることができる。ある日、お父さんが夏休みに山でキャンプをして、ペルセウス座流星群を見ようと皆に提案した。キャンプの日、夜空を見上げると、そこにはたくさんの流れ星が…。夜空観察入門絵本。

『日本の神話古事記えほん1 国生みのはなし』 三浦佑之/監修 荻原規子/文 斎藤隆夫/絵 小学館 2016.4 ¥1700

語り継がれてきた日本の神話「古事記」が新しく絵本化。シリーズ全5巻刊行予定。日本の神話をモチーフにした作品で知られる児童文学作家萩原規子が文を担当。絵は各巻で異なる作家が担当。第1巻は、国生み神話を描く。天の沼矛でイザナキとイザナミが海をかき混ぜる有名な場面や、黄泉の国の恐ろしい光景などが鮮やかに描かれる。今後、「天の岩屋」、「やまたのおろち」などが刊行予定。

『ウミガメものがたり』 鈴木まもる/作・絵 童心社 2016.5 ¥1500

夏の砂浜。海の中から母ウミガメがやってきた。砂浜に卵を産んで、帰っていく。卵から孵った子ガメ達は、砂からはいだし海へ向かい、長い旅が始まる。その先には広い海が待っていて…。何を食べ、どんな敵から身を守り、成長していくのか。産卵、孵化だけでなく、その後の海でのウミガメの生きぬく姿がたっぷりと描かれ、その生態を知ることができる絵本。

##### <読み物-小学校低学年から>

『理科室の日曜日 ハチャメチャ運動会』 村上しいこ/作 田中六六/絵 講談社 2016.5 ¥1200

日曜日の「せんねん町運動会」に出場することになった理科室の備品たち。二人三脚に、大玉ころがしにと大張り切り。でも三角フラスコとピーカーは気の乗らない様子。それどころかリーダーの人体もけいのことが疎ましくて借り物競争で嫌がらせをすることに。さて計画はうまくいくのか、そして最優秀選手賞は誰の手に…？最後に温かい気持ちにさせる「日曜日シリーズ」6冊目、『理科室の日曜日』の続編。

##### <読み物-小学校中学年から>

『穴の本』 ピーター・ニューエル/作 高山宏/訳 亜紀書房 2016.4 ¥1600

トム・ポッツ君が銃をいじくっていたら思わぬ弾が暴発、近くにあった時計を打ち抜き壁に穴を開けた。その弾は台所のボイラー、車のガソリンタンク、金魚の入った水槽と次々と穴を開けて、まさに世界一周する勢い…。ページをめくるたびに、真ん中に空いた直径8mmの穴からお話が展開される、絵本の魔術師ピーター・ニューエルのヘンテコでたのしい仕掛け絵本。原作は1908年発行。

##### <読み物-小学校高学年から>

『アンティーク・シオンの小さなきせき』 茂村久美子/作 黒井健/絵 学研プラス 2016.6 ¥1400

高原の町はずれにある骨董店「アンティーク・シオン」に、ふと立ち寄った若いサラリーマン雅治は、住んでいる寮には不釣合いな大きな古時計に心奪われ、購入することに。ねじを巻いても動かない古時計にがっかりしながら眠ると、なんと、夜中に時計は動きだし、雅治にすてきな時間を与えてくれる。骨董品と骨董品に心引かれる人との間に起こる、不思議で心あたたまるお話6編を収録。

『菜の子ちゃんとカッパ石』 富安陽子/作 福音館書店 2016.4 ¥1300

トオルは5年2組に転校してきた菜の子にカッパ石を探しに行こうと誘われる。今あるカッパ石は偽物で、本物は大水で流されしまつて行方不明。150年ぶりにカッパ石の存在を確かめにやってくるカッパたちに偽物だとばれる前に何とかしないと、まずいことになるという…。下関に残るカッパの伝承、平家一門と耳なし芳一、伝説の巨人「おおひと」などが織り込まれた「日本全国ふしぎ案内」シリーズ第2弾。

<読み物—中学生から>

『小やぎのかんむり』 市川朔久子/著 講談社 2016.4 ¥1400

中3の夏芽は、サマーキャンプに田舎のお寺を選ぶ。行ってみると参加者はたったの一人…。そこに母親に置き去りされた幼い雷太が。なかなか心を開かない雷太と関わる中で、夏芽も自分自身の問題に向き合っていく。3匹のヤギたちや自然とのふれあい、お寺の人々の優しさの中で次の一歩を踏み出す力を得ていく。大人の身勝手さを暴きながらも、一方で大人への信頼もしっかり描いた作品。

『ラ・フォンテーヌ寓話』 ラ・フォンテーヌ/作 ブーテ・ド・モンヴェル/絵 大澤千加/訳 洋洋社 2016.4 ¥1800

『イソップ寓話』や古代インドの説話集などから題材を得て、240編の寓話詩を創作した、17世紀のフランスの詩人ラ・フォンテーヌの寓話の中から「ハトとアリ」など全26話を収録。擬人化されたユーモラスで可愛らしい動物の姿などを、20世紀初めのフランスの挿絵画家が繊細かつユーモラスに描いた美しい大人向きの絵本。詩篇で書かれた原文を物語調にわかりやすく翻訳している。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『やさいの花』 埴山節子/写真 嶋田泰子/文 ポプラ社 2016.5 ¥1500

もともと野の草花だった野菜。種から芽が出て3年目に花が咲くゴボウ、タンポポのような花をつけ綿毛を飛ばすレタスなど、実はとても美しい野菜の花たちを写真で紹介。花が咲く前に食べてしまったり、花を咲かせると栄養を取られてしまうので花を取ってしまったりで、花を見る機会がないものもある。身近な野菜も植物の仲間だということを知りかされ、科学の視点を持つことができる1冊。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『目でみることばのずかん』 おかべたかし/文 やまでたかし/写真 東京書籍 2016.5 ¥1600

高さが変わらないどんぐりをたくさん並べて立たせた見開きいっぱいの写真を「見る」ことで楽しく「どんぐりのせいぐらべ」の言葉の意味が理解できる。『目で見ることば』など6冊の著書の中から、小学生のためにセレクトして総ルビ付きで編集された1冊。ことわざの他に、漢字の形やカレイやヒラメのように似たものも写真で紹介。言葉を目で「見る」という、新しい体験ができる1冊。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『マレットファン夢のたねまき』 村中李衣/作 新日本出版社 2016.3 ¥1400

スマトラ島沖地震の直後からタイに駆けつけた久美。現地では出会ったタイ人のギップ、ムアイと共に、子どものために、図書館づくりや保育関係者の研修事業に奔走していたが、突然事業が中止に。そこで自分たちで教育支援を目的にしたNGO団体「マレットファン」(夢のたね)を立ち上げ、活動を続けることになった。この活動を観察し、想いに共感した、山口県出身の作家による1冊。

<ノンフィクション—中学生から>

『7つの名前を持つ少女 ある脱北者の物語』 イ・ヒョンソ/著 デヴィッド・ジョン/著 夏目大/訳 大和書房 2016.3 ¥2200

北朝鮮の階級制度の高い身分に属し、何不自由なく暮らしていた著者は、18歳になる前に「世界が見たい」と、家の前の10メートルほどの河を渡ったばかりに、生き延びるための長い旅を始めることに。幾多のピンチを切り抜け、12年目に家族を脱北させ、3000キロに及ぶ旅の末…。北朝鮮の現実を知ると共に、アイデンティティを求め、新しい価値観を得ていく少女の成長物語としても読める。

<研究書>

『ランドルフ・コールドコット 疾走した画家』 レナード・S. マーカス/著 灰島かり/訳 BL出版 2016.5 ¥2800

アメリカの優れた絵本に贈られる「コールドコット賞」の名前の由来となったイギリスの絵本創世記の画家・ランドルフ・コールドコットの誕生から死までを、時代背景を押さえつつ簡潔、的確に描く。未発表の絵や初期の頃の新聞掲載の挿絵、絵本など各ページにイラストをちりばめ、彼の絵の魅力やユーモアあふれる人柄も伝わる、大判の贅沢な伝記絵本とも言える。

『小さな本の大きな世界』 長田弘/著 クレノンハウス 2016.4 ¥3200

大の本好き詩人・長田弘が、『エリザベスは本の中の虫』『フランシスさん、森をえがく』など子どもの本を中心に新旧、様々なジャンルの「お気に入りの本」全145冊にまつわる話や思いを綴る。本の紹介であると共に優れた児童文学研究の書でもある。挿絵は絵本画家・酒井駒子。『東京新聞』『中日新聞』等に2004年4月から逝去の数日前、2015年5月1日に連載されたものを加筆し書籍化。

【県内の動き】

★絵本で子育て応援講座 VOL. 3(全6回)～どんな絵本がいいの？小学校にあがるまで～

- 日時：平成28年7月23日(土)13:30～15:00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室
- 講師：村中 李衣氏(児童文学作家) ○定員：約30名(要申込み) ○参加費：無料
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館(TEL:0836-83-2870)

★子ども選書会～みんなに読んでもらいたい本をえらぼう～

- 日時：平成28年7月27日(水)13:00～15:00 ○会場：山陽小野田市厚狭地区複合施設 2階第2研修室
- アドバイザー：横山 眞佐子氏(こどもの広場代表) ○定員：山陽小野田市内の小学生約50名(要申込み、先着順)
- 参加費：無料 ○照会先：山陽小野田市立厚狭図書館(TEL:0836-72-0323)

★青空読書会

- 日時：平成28年7月29日(金)8:50～11:10 ○会場：ときわ公園 ときわミュージアム本館東側
- 講師：小学校の先生、図書館読み聞かせボランティアの皆さん ○対象：幼児、小学1年生～3年生
- 参加費：無料 ○照会先：宇部市教育委員会図書館企画運営係(TEL:0836-21-1966)

★おはなし会<ステップアップ>講座

- 日時：平成28年8月27日(土)13:30～15:00 ○会場：岩国市中央図書館 2階 講座室1
- 講師：横山 眞佐子氏(こどもの広場代表)
- 対象：おはなし会ボランティア経験者、保育士、幼稚園教諭、学校教諭等、子供の読書活動に関わる活動をされている方(岩国市内在住、岩国市内のボランティアの方優先) ○参加費：無料 ○定員：30名(先着順、要申込み)
- 申込み：平成28年7月15日(金)10時から申込み開始 ○照会先：岩国市中央図書館(TEL:0827-31-0046)

※子どもの本や読書についてイベント情報をお寄せください。